

E N E O S 海外渡航支援事業報告書 (学会渡航)

2025 年 11 月 23 日

工学部 工学研究科修士課程 (どちらか○で囲む)
所属学科・専攻・回生 物質エネルギー化学 学科 専攻 1 回生

氏 名 足立 平良

1. 参加期間 2025 年 10 月 24 日 から 2025 年 10 月 27 日

2. 会場 (開催国・場所・機関等)

開催国：ベトナム 開催場所：ハノイ 開催機関：ハノイ教育大学

国際学会名：10th Asian Conference on Coordination Chemistry

3. 発表成果 (概要)

「Preparation of half-sandwich Rh complexes bearing bulky cyclopentadienyl ligand for catalytic C-H borylation of alkanes」 という題目で、炭化水素ホウ素化反応における触媒の立体的効果に関する実験結果と考察について、口頭発表を行った。発表には多くの方々が足を運んでくださり、さまざまな視点からご意見をいただくことができた。これらの指摘や議論は、今後の研究に活かしていきたい。質疑応答では不安もあったが、理解が追いつかない点は質問し返すなどして、相手と丁寧にコミュニケーションを取ることができた。一方で、英語を用いて自分の考えを正確に表現することの難しさを改めて痛感した。また、参加者が多様な地域出身であったため、イントネーションの違いからリスニングに苦労する場面もあり、国際学会ならではの課題を実感した。今回の学会参加は、私にとって初めての海外渡航でもあった。文化や生活環境の違いには、日本では想像できないようなものも多く、非常に新鮮で、刺激の多い経験となった。今回得られた知見や体験を今後の研究活動に活かしていきたい。

4. 奨学金の使途

学会参加費用、渡航費用の一部に使用した。